



結城農業かわら版



第119号

令和2年3月25日

発行 結城地域農業改良普及センター

TEL 0296-48-0184

FAX 0296-48-2682

HPへアクセス↑

茨城県花の展覧会で金賞・銀賞を受賞！！

毎年恒例となっている茨城県花の展覧会が、2月15・16日にイーアスつくばで開催されました。今回は、県内各地よりバラ、カーネーション、アルストロメリア、球根切花、一般切花、枝物、鉢物の7部門に総計186点が出品されました。

バラの部では結城市の滝沢学農業経営士が出品した「アマダ+」が金賞を、「プラヴィータ！」が銀賞を受賞しました。

滝沢経営士は結城市上山川で28aのハウスでバラを栽培し、一輪咲

や、スプレー咲12品種を、年に30万本大田市場に出荷しています。近年は夏の猛暑や長雨・暖冬等で、バラの生育に適したハウス内の温湿度や照度のコントロールに苦慮しているとのこと。本展覧会のような花のイベントには積極的に参加し、消費者の声を大切にしています。

本年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため各種イベントが中止される等により、需要期に向けて生産された花が、行き場を無くして困っています。こんな時だからこそ、花を飾って心を潤しましょう！



会場は美しい花で溢れていました



農林水産省生産局長賞

銀賞を受賞した「プラヴィータ！」



銀賞

(株)茨城県農林振興公社
理事 長谷川

↑金賞を受賞したアマダ+

県西地区青年農業士合同研修会を開催！

2月27日、結城普及センターにおいて県西地区の青年農業士が一堂に会し、合同研修会を開催しました。

内容は、県青年農業士連絡協議会主催の海外研修（ベトナム：2月3～7日）に県西地区から参加した3名の方より、ベトナム国の概要や農業情勢、スーパー（イオン）における農産物の状況などについて、写真や動画を使って分かりやすく報告してもらいました。

また、筑西地域における農業経営士や女性農業士、4Hクラブと連携した活動についても報告してもらいました。

青年農業士は、地域の中核的役割を担う農業者として期待されています。今後も最新の農業情勢や技術等に鋭敏に対応し、地域農業の活性化を図るべく活動していきます。



皆様熱心に報告を聞いていました！

水稻の失敗しない育苗管理

苗作りは、昔から「苗半作」と呼ばれ、稲作りにおいて重要な技術です。良い苗を植えることは、その後の活着や初期生育が良く、またほ場全体の揃いも良くなります。育苗に失敗する主な原因は①「浸種不足・催芽ムラ」②「ハウス内の高温による出芽不良、ヤケ」③「苗立枯病」です。次の点に注意し、健全な苗を育てましょう。

注意点と対策

- ①浸種・催芽：浸種は種籾がアメ色になるまで十分に行い、催芽は28～30℃でハト胸状態（図1）にし、播種前に必ず目で状態を確認してください。
- ②温度管理：表1を参考にハウスを換気してください。
- ③苗立枯病対策：極端な高・低温、湿度の変化が無いよう、温度・水管理が重要です。



図1 ハト胸状態

表1 育苗期間の温度管理の目安

時期	日数	昼間	夜間
播種～出芽	2～3	28～30℃	28～30℃
緑化期	3～4	20～25℃	15～20℃
硬化期	10～15	20～25℃	10～15℃

農薬散布時のドリフト(意図しない作物への飛散)を防止しましょう！

食品衛生法の改正により、平成18年から、原則としてすべての農薬に残留農薬基準値が設定され、この基準を超えて農薬が残留する農作物などは流通が禁止されました。

その基準値の中には0.01ppm（ドラム缶50本の水に対して農薬成分1cc）という非常に厳しいものもあり、近隣の畑から飛散したわずかな農薬でも問題となる恐れがあります。そのため、より一層、農薬のドリフト（飛散）防止対策を徹底する必要があります。

☆こんなときは特に注意が必要☆

- 収穫間近の農作物が周辺にあるとき
- 周辺圃場との距離が近いとき
- 周辺の農作物への使用が認められていない農薬を使用するとき



☆主なドリフト防止対策☆

- 農薬を散布することを周辺の栽培者にも伝え、お互いに注意する。
- 周辺の農作物にも使用できる農薬を使用する。ドリフトしにくい剤型(粒剤など)の農薬を使用する。
- ドリフトが少ないノズルに付け替える。
- 農作物の作付け（混植，混作）の見直しをする。
- 風の弱いときに風向きに注意して散布する。
- 散布の方向や位置に注意する。
- 圃場などの境界に遮蔽シートを設置したり、ソルゴーなどの緑肥作物を作付ける。

やさいメモ

野菜の豆知識

～キャベツ～

キャベツの原産地はギリシャやイタリアなどヨーロッパの大西洋・地中海沿岸と考えられています。栽培の歴史は古く、紀元前の古代ギリシャや古代ローマにおいてすでに栽培が行われていました。

キャベツに含まれるビタミンCやビタミンUなどの栄養成分は、加熱すると溶け出てしまうため、ゆでて食べる際には時間が長くなりすぎないように注意しましょう。



編集後記

今年の初め頃から新型コロナウイルス流行の影響で中止になるイベントが多く、寂しく思っております。一日でも早く、事態が収束することを心から願っています。（小沼）